



七尾市立七尾中学校学校便り

平成31年4月19日

なにくそ 第1号

「21世紀を生き抜くたくましさ」

平成31年度をともに学ぶ510名の全校生徒の皆さんに私は期待することがあります。それは、二十一世紀を生き抜くたくましさを身につけることです。困難から逃げ出さず、立ち止まらず、「なにくそ」の根性で立ち向かう強さを身につけてほしいと思います。

そのためにまず一つ目に、「豊かな心」を磨いてください。自らを律しつつ友達と協調し、相手を思いやる心や、いのちを大切にすばらしいことに感動できる心を磨いてほしいと思います。

二つ目は、「確かな学力」を身に付けてください。中学生としての学習習慣を定着し、主体的に学ぶ意欲を持って、これからの社会を生き抜くための学力の基礎をしっかりと確立していただきたいと思います。

三つ目は、「たくましい体」を鍛えてください。体力は、あらゆる活動を行う上で活力の源となります。伸び盛りである三年間の中学生時代に、栄養・運動・休養をバランスよくとり、たくましい体を鍛え上げてください。

困難に「なにくそ」と立ち向かう皆さんに、詩人 相田みつをさんの言葉を紹介しします。

『やれなかった やらなかった どっちかな』

やれなかった理由があっても、本当はやらなかったんじゃないかな。あなたは、まずやれない理由を考える人ですか？それとも、どうしたらできるかを考える人ですか？

また、次のようにも言っています。

『あとじゃできねんだよなあ いまのことは いましかできぬ』

毎日少しずつ、できることを続ける中で、大きな夢と目標を自らの手でつかんでいただきたいと思います。

(入学式 式辞より)



人間形成をめざす部活動！

学校を取り巻く状況が刻々と変化するなか、中学校教育における部活動は「人間形成」に重要な役割を果たすものであります。

七尾中学校では、国のガイドライン、石川県教育委員会及び七尾市教育委員会の方針や基準を踏まえて、『部活動に係る活動方針』を下記のように定めます。

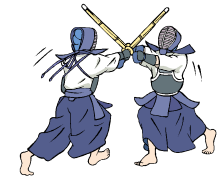
◇事故防止・安全確保

指導者は、生徒はまだ自分の限界、心身への影響等について十分な知識や技能をもっていないことを前提として、計画的な活動により、各生徒の発達段階、体力、習得状況等を把握し、無理のない練習となるよう留意するとともに、生徒の体調等の確認、関係の施設、設備、用具等の定期的な安全確認、事故が起こった場合の対処の仕方の確認、医療関係者等への連絡体制の整備に留意する。

◇コミュニケーションの充実

部活動を運営する上で活動の前提となる、指導者と生徒との信頼関係づくりに向け、生徒とのコミュニケーションを大切にし、良好な人間関係の充実に努める。

- ・指導の目的や、内容、方法の明確な説明
- ・評価や励ましの観点からの積極的な声かけ
- ・疲労状況や精神状況等、心身両面での適切な助言



◇科学的トレーニングの導入

指導者自身の経験則だけに頼ることなく、競技種目や分野の特性等を踏まえた合理的でかつ効率的・効果的な練習方法（発育・発達段階や習熟段階に応じた適切な指導等）を積極的に取り入れる。

◇適切な休養日等の設定

部活動における休養日及び活動時間については、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、以下を基準とする。

- ・休養日は、原則として、週2日以上、平日1日と土曜日又は日曜日とする。
- ・大会参加や大会前等で、やむを得ず休養日を土曜日、日曜日ともに設定できない場合は、事前に活動計画等により学校長の承認を得て、翌週の平日に代替の休養日を設ける。ただし、土曜日、日曜日、祝日又は振替休日において年間52日以上の休養日を設定する。（前述の代替の休養日はこれに含まない）
- ・なお、中体連・中文連が主催又は共催する大会に出場した際に土曜日、日曜日の両日に活動した場合については、年間で設定すべき52日以上の日数から減ずることを認める。
- ・通常練習における1日の活動時間は、平日は長くとも2時間程度、学校の休業日は長くとも3時間程度とする。
- ・夏休みなど長期休業中は、まとまった長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。

